「エクアドル通信!」

JICA 海外協力隊月報　第 14 号
2026 年 9 月 28 日 発行：楠田恭子

あっという間の 13 ヶ月

「光陰矢の如し」という言葉通り、エクアドルでの活動も半分が過ぎ、9月3日は「中間報告会」でした。これまで取り組んできた活動や、課題とその解決に向けて行ってきたことをスライドにまとめ、発表しました。

大勢の人の前でスペイン語で発表することは大変でしたが、カウンターパートのヤウリさんと一緒に楽しみながら発表することができました。これまでの活動を振り返り、これからの取り組みについて話し合う、とても良い機会にもなりました。そして改めて、ヤウリさんと一緒に活動できることを幸せに感じました。



← 任地の民族衣装を着て、キチュア語と日本語を交えて発表しました。「発表、頑張ろうね！」と記念写真を撮りました。



↓ 久しぶりに同期の 4 名と会うことができました。これから平和教育と千羽鶴プロジェクトに挑戦します。



↓ 標高 4000m の空中ブランコ！



4000m で馬に乗る！

中間報告会の後、任地に戻る前にキトのロープウェイに乗りました。頂上はなんと 4050m！そこで、馬に乗って周囲を巡るという貴重な体験をしました。

馬たちはとてもおとなしく、決められたルートをゆっくり進んでいきます。途中で立ち止まって草を食べたりする姿もあり、のんびりした雰囲気でした。乗馬を楽しみながら、標高 4000m からキトの街を一望する素晴らしい景色も楽しむことができました。

清々しいひととき

コンテンポラリーダンスの講師を招いて、ワークショップを実施しました。初めは少し緊張していた学生たちも、少しずつ体を動かすことに慣れ、楽しそうに動いていました。最後にはみんな清々しい笑顔を見せていました。普段は学業で忙しい学生たちですが、こうしてリラックスして、自分を表現する機会が必要なんだと改めて感じました。









キチュア語コーナー

エクアドルの言語の１つキチュア語を紹介します。"¿ Kayka hayka? "(カイカ アイカ)は買い物で「これいくらですか？」と尋ねる時に使える表現です。